

「SWEET REVOLUTION 優しい空気を社会に届けよう!」

園長 中村 隆



SWEETという言葉<mark>には「甘い」という意味で捉える</mark>ことが一般的です。しかし、詳<mark>細に意味を調べていくと「優しい</mark>」「思いやりのある」「親切な<mark>」「快い」「楽しい」「心地いい」「</mark>かわいい」といった言葉に置き換えることもできます。

私の好きな歌にSWEET REVOLUTIONというタイトルのものがあるのですが、そこでも意味を考えてみると、社会の価値観を優しさに!ともはや思い込み?もありながら解釈してしまいます。この歌の詩にはこの国(日本)の言葉があ・いから始まることから進んでいきます。あいから始まることを体感していくことが望まれている現代なのではないかともメッセージは受け取れます。

さて、ハンディキャップのある方々が社会の中で暮らしていく価値観って、心地よさのある社会づくりに寄与している一面があることを関わっている人たちは知っています。その心地よさを私たちはどれだけ社会に発信しているでしょうか。ひとえに社会福祉といっても、貢献の仕方は様々です。権利擁護の視点から考えてみると、彼らが生きていく中での体験する機会は、世間の人たちが一般的に体験していくことと比べ圧倒的に少ない、と多くの支援者は感じています。そのことに気づいている支援の輪は少なからず、社会を変える力になっているように感じます。私も全国で活動として社会発信していく仲間に勇気づけられることもしばしばです。

長野県佐久市で活動する「NPO法人たんと。」もそのひとつで、柔軟な活動の根底には「その人らしく生きる」というテーマがあり、活動を支えていただく、知っていただくツールとして、クラウドファンディング(インターネット上の寄付)を使っていたことに大きな刺激を受けました。この度、若久緑園の子どもたちが富士山登頂へのチャレンジを行うにあたり、クラウドファンディングの利用を決めました。この取り組みを通じて、多くの方々から支援を受ける中で忘れてはならないことがあるとするなら、こういう活動の根っこにある私たちの考え、子どもたちの自己肯定感・自信を育むことなんだと思います。若久緑園の「にほんいちの山に登り隊」の主体は子どもであり、支えるための環境づくりがサポーターの役目です。子どもたちはこのプロジェクトを通じて、明らかに変わってきたように感じています。その環境づくりは「SWEET REVOLUTION」って言ってしまったら大げさでしょうか。子どもたちが九州の山々を登りながら、富士山登頂へ向かっていく流れのプロセスは大きな体験になっていることは間違いありません。そして、その体験を支えてくれている礎に、クラウドファンディングで応援してくれている方々がいることも大きな力となっています。この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。「ありがとう」と。

そして、この広報誌がおもてに出る頃は、富士山登頂チャレンジがすぐそこに近<mark>づいています。その日、天気が</mark>上々であることを祈りつつ、どんなストーリーが待っているのか楽しみです。

富士山登頂チャレンジは非日常の中での大きな体験ですが、本当はちょっとしたお手伝い等の日々の様々な役割の中で、居場所づくりを行うことも、実は支援の根底に子どもたちの自己肯定感・自信を育むことにあることを再確認し、「子どもたちの成長が社会を優しく」であることを実感しています。









亀谷 正



中村 隆



園長補佐 中山 雄二



統括部長 上原 桂一郎



施設支援課 課長 鬼塚 康宏



施設支援課 主任 西原 理代 (児発管 兼務)



施設支援課 主任 柚木崎 真悟





安達 やす子 飯田 聖枝





山口 裕輔



中嶋 俊明



山本 勝巳





山﨑 良子



岡部 虎太郎





若葉



肘井隆志



永田 竜吾



豊田 竜一



浦 和哉



秋本 祐資



久次 あゆみ



事務員 宝来 美野子



阿蘓 孝子



亀田 諭司



照葉

村山 樹里



田島 聡



大河 剛



泉原 勇作



吉永 尚央



居石 唯菜



安室 充博 (サビ管)



双葉



切通成美



濵﨑 充



出口 華恋



山下 千晶



寺田 ひろみ



坂井 優



武田 千恵



古賀 祐子



🕵 放課後等デイサービス



地域支援課係長 都合 賢祐



外間 由希子

上野 亜季

上村 亮太 水田 万暉





原猛

(サ責)

薬師 愛美

(サ責)

ホームヘルパーステーション ゆんた

上村 哲平

中山 恵子 志間 裕江





平成31年4月 発達障がいの理解と支援の実際 ~感じ方を知り、関わりを考える~

講師:橋本 文 氏

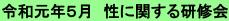
(福岡市発達障がい者支援センター 所長)





今年度初の園内研修は、福岡市発達障がい者支援センター(ゆうゆうセンター)所長の橋本文氏を講師にお招きし、発達障がいの理解を中心に、基礎からの学習を行いました。

感じ方の違いや、その人なりの個性(障がい特性)の理解につながる内容で、中堅職員以上は初心に帰り、新人職員は基礎を学ぶ良い時間となりました。 今回の研修を基に、職員として知識や感性を磨いていきたいと思います!



講師: 思春期保健相談士 徳永桂子 氏 (NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ)

若久緑園では、近年「性教育」「性の支援」への学びに力を入れています。 今年で、3年連続ですが、兵庫県から思春期保健相談士の徳永桂子氏を講師に招き、5月30日には、外部の方向けに「子どもたちを性暴力の被害者にも加害者にもさせないために~思春期の問題と向き合う~」と題して研修を行いました。外部から100名以上参加して頂きました。感想としても、大変勉強になった等、大変有意義な研修会となりました。

翌日5月31日には、若久緑園の職員向けに、園内研修として「対等な関係を作るために」と題して、子ども達に性と恋愛をどう伝え、見守っていくかの研修を行いました。なかなか踏み込みにくい内容・支援ではありますが、正しい知識を子ども達に伝えていくことの大切さを学ぶことができました。

権利擁護の視点から、子ども達の育ちの為にも、今後も研修や実践を積んでいき たいと思います。









- ·特定医療法人財団 博愛会 博愛会病院 様
- ・波多江 様 ホームランシステムズ様 から寄付・寄贈を頂きました。ありがとうございました。







今年度は16名の子どもたちと、8名の職員でスタートしました。

令和になって初めてのGWではお天気にも恵まれ、汗ばむ陽気の中でしたが、 ベイサイドプレイスまでお出掛けすることが出来ました♪

ランチは、「リタの農園」さんでいただきました。卒園したお兄さんの働く姿を間 近で見る事が出来て、憧れの眼差しで見つめる子もいました。

普段の生活の中ではなかなか味わえない、外食の雰囲気にも触れることができ、良い経験になったのではないかと思います。

ランチの後は、周辺を散策をしました。小さい子たちも自分たちの足でしっかり歩きましたよ!行きかう人たちにも挨拶をきっちりしていました♪

その後は、メインイベント!エイサーの応援へ。いつもとは違うステージで頑張る仲間たちを見て、大きな声で声援を送っていました。格好良かったね! 全員が怪我も無く、楽しく外出が出来て本当に良かったです。

すでに夏の外出を心待ちにして楽しみにしている子どもたちです。



令和元年5月5日(日)

若葉寮は全児童で今宿野外活動センターへ行きました。到着してすぐに、バーベキューを開始!かなりの量の食材があっという間に無くなりました。子ども達はお腹いっぱいになるまで食べて、大満足の様子でした♪

昼食を済ませ、登山、バドミントン、川遊び、キャッチボールなど、好きな活動を楽しんでいました。 登山では山頂まで登り、達成感を味わいました。また、川遊びでは川辺の生き物を捕まえ、嬉しそうに 職員に見せに来てくれました。ズボンまでびしょ濡れになる程、楽しんだ児童もいました。たくさんの良い 思い出ができました。

今年1年楽しい思い出を沢山作りたいと思います。

照響源





5月2日、照葉<mark>寮</mark>のゴールデンウィー<mark>ク外出は「すたみな太郎」と「小戸公園」に行きました。</mark>

すたみな太郎では、焼肉やカレー、アイスにわたあめなど好きなものをお腹いっぱい食べることができました。

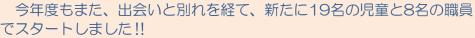
小戸公園では、遊具で遊んだり、綺麗な景色を眺めたりと、みんな楽しく過ごしました。

子どもたちは「夏休みはどこ行く?」と<mark>早速、夏の寮</mark>外出を楽しみにしている様です♪









5月4日にはGW外出企画があり、ロイヤルホスト馬出店にて昼食・ベイサイドプレイス博多へ行きエイサー出演&応援へ行きました。

ロイヤルホストは初めての利用で子ども達も非常にワクワクしており、 お店の方にも良くして頂いたおかげで美味しく楽しいひと時を過ごせま した!

ベイサイドではアクアリウムやポートタワーに登り福岡を一望☆ ゆったりとした時間を過ごすことができました。

エイサーに出演した児童は、普段一緒に過ごすみんなに舞台上で演舞する姿を観てもらう事にとても緊張はしていましたが、気持ちよく踊り切りました!!

今年度も色んな楽しい事も、面白い事も、時にはつらい事もあると思いますが、みんな揃って素敵な1年間を過ごせたら良いなと思っております☆















待



たと思 受催さ. います。 れ は **上な体**な 1 1月1 験り をすること 援を送 5 ま , 16日に長崎 Oことが出来ま Cの方に感謝致 つて頂 出 場予定 浦 くでき

経

験が

こども達をさらに成長させてく

ツの

にできている配酬味でも

たと

感じました。こ

の醍醐味である、『楽しむ』チ共に深く感銘を受けまし

である、

結。打って、守って、走ってと、全力でいうモチベーションでこども達は一致団パースあさくら戦では、勝てにジョッ 勝利を収け 初回で奇な りました。それは、キャプテンの「試へしたが、勝ち負け以上に大きな収穫もきな差があったのは事実。今年も敗れ 声 には負けていました。 の輪学園」。 を出し 決勝戦の相手は Oた。その姿はとても誇らしく、監ひたむきに戦っているこども達の自ら大きな声を出してチームを鼓. め 満 ま 跡 ても声では負け て応援し \mathcal{O} た。しかし、 ال た結果、 2 回 戦 永遠の いるこども達の姿に大きな収穫もあに大きな収穫もあに大きな収穫もあに大きな収穫もあまってチームを財力で大実。今年も敗れますのでガースを表表を表してがある。 Nのほっとスフき、そのまt · 2 連 見事決勝 戦

18:11 9 (あさくら)





ライバルに連敗る

今後の課題は。。。

卿殿。守備为。自信

≪試合結果≫

(リーグ戦)

若久緑園 4-5 学正会 若久緑園 20-0 周防学園

(決勝戦)

若久緑園 4-9 学正会

てわ手上を見置ば失品選組 快を品 悪シサ勝4を3打応し許削初上おれに手引事いし点川手み決勝見川続送ョヨ利点送対線えフす選戦々くる2だきなてた。選。気勝。せ選く球ーナををり0がてト。手ののはできるのの打手初合戦得、手2したラ確取出で繋この選が相コンで負にせラ2は線を回をは失打。回、コの信っての場になる。 てき品 好天に恵まれた大会当日、選手達も 関手が好投するも、四球、エラーで、 対ので迎えた最終回、祈る思いで打き 点を取って逆転に成功。選手に無りが出た為、 力トの品川選手が好投するも、四球、エラーを 一方ので迎えた最終回、祈る思いで打き 一見せ、打線も爆発して20点を取って逆転に成功。選手を投入するも、四球、エラーで 一別選手を投入するも、四球、エラーで一打 一別選手を投入するも、四球、エラーで一打 一別で迎えた最終回、祈る思いで打き に2度負けたのは丸山主将。1、2塁に走者を で2、結局9対4で敗戦。同じ相 が繋がらず得点出来ない。そして、 一方のは丸山主将。1、2塁に走者を で2、結局9対4で敗戦。同じ相 が3つで迎えたが、相手が一と に2度負けたのが余程悔しかったと で3寸き寄せたかに見えたが、相手が一と が3寸き寄せたかに見えたが、相手が一と で2型に走者を で3寸を進めた。 で3寸を進めた。 で4寸で が3ででから で5が、相手が一と で7が、 で7が 次何な川大 回よ収選会 はり穫手を 優もだの振 継り 自課投返 信題でって \blacksquare は試て こ知合 たの識を い。へかられた。 秋身カこ と削 本に

写制選手・品川選手の2比看板 キャフテンの3ラン

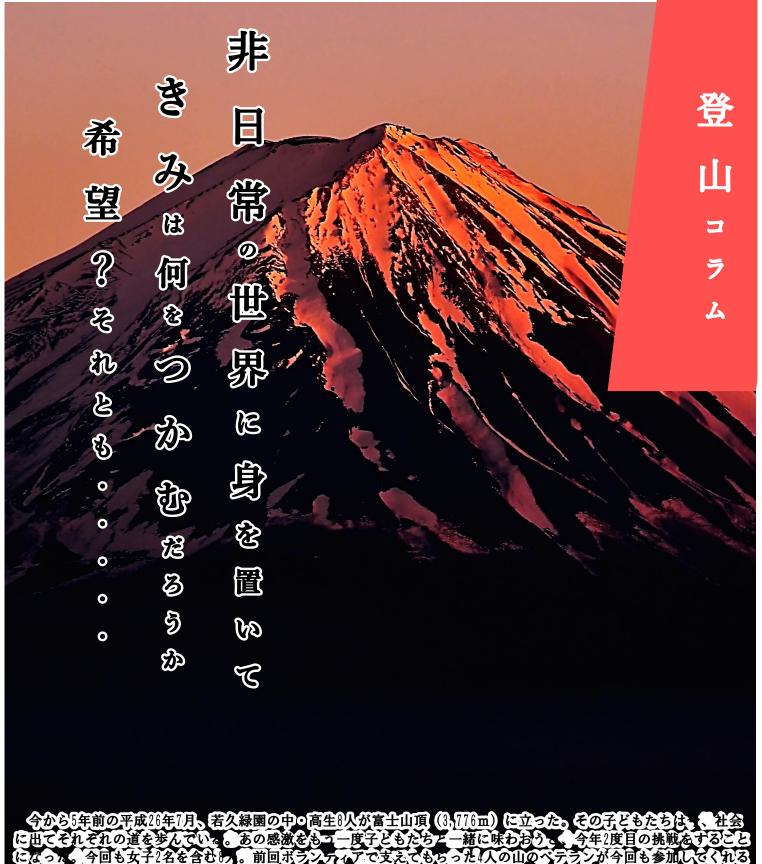


今しかできない事がある
一人では 困難 でも
仲間とならできる事がある!

自信、達成感、ワクワク、協力 そんな経験をこどもたちに。







れぞれの道を歩んでいる。あの感激をもユー度子ともたちと一緒に味わおう。、今年2度目の挑戦を 今回も女子2名を含むし。前回ボランティアで支えてもちった4人の山のベテランが今回も参加し

3,000メニトルを超す山の自然は過酷だ。冬場は人を寄せ付けない。登るチャンスを与えてぐれるのは夏場の数か月だけ。もちるん、夏でも油断は禁物だ。下界とは自然環境が大きく異なる。まず、空気は下界の80%程。なめてかかると高山病だ。気温も地上より20度以上低い。これに雨や風が加わると体感温度はさらに低くなる。周到な準備が求められる。一方、高度を稼ぐごとに景色が変わり、やがて眼下には雲海。初めて見る雲海に驚く子どもたちの様子が

山頂までは約6時間以上登り続ける。山頂は見えているのになかなか近づかない。しんどい、苦しい、そんな思いを仲間と共有し、その対価として味わう達成感、感激、満足感。目標に向かって1歩、また1歩。山頂に立つごとは大きな目標であるが、そこに至る行程こそ、富士登山にチャレンジする意味がある。この体験が子どもたちの大きな財産になることを願い。このティレンジ精神が、近い将来彼らが社会に飛び出していくとき大きな心の支えになると信じてよ、今回の富士登山挑戦が子ともたち一人ひとりに何をもたらすのか楽しみか

習情受付委員会からお知ら世



今回は苦情等の受け付けは ございませんでした。

苦情相談等がございましたら、お 気軽に苦情受付担当者にお申し出 頂くか、玄関に備え付けている「ご意 見箱」にお入れください。

若久緑園に関する質問・意見・疑問などがございま したら、下記の苦情受付委員までお申し出ください。 誠意をもってご返答致します。

【苦情受付担当者】 鬼塚康宏(施設支援課 課長) 都合賢祐(地域支援課 係長)

【苦情解決責任者】中村隆 (園長)

【第三者委員】

武末 政利(春日市桜ヶ丘自治会長) 住所:春日市桜ケ丘8丁目72番地 電話:090-5746-6505

諏訪田 孝一(新開学園理事) 住所:福岡県糸島市神在131-39 電話:090-5939-4712

事務所で直接話しづらい、話し合っても解決できない時は こちらでもご相談をお受けしています。 (匿名でのご相談も可能です)

福岡県運営適正化委員会事務局(社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会) 住所:春日市原町3丁目1番7 クローバープラザ4階(東棟)

電話:092-915-3511



ホームヘルパーステーションゆんたでは 地域に住まわれるハンティキャップを持っ た方に移動支援、行動援護、身体介護、 家事支援といった福祉サービスを提供し ています。

電話:551-4145

FAX:512-6361





気温がどんどん高くなり、外に出る機会が増えてきました!春休みやGWは、公園や博物館におでかけをしたり、畑の野菜を取って料理をしたり、遊びを通して子どもたちと色々な体験をしました(^.^)♪



お知らせ、祝』大賞受賞』

今回のGREEN PEACE表紙は 照葉寮、正池唯吹くんです。

この表紙の絵は「くばらだんだんアート2019」にて大賞

<u>を受賞しました!!</u>

福岡市内ではこの作品のラッピングバスが走っています★

唯吹くんおめでとう!!!

「大きなおにざり をたべるぼく」



GP 次号は!

グリーンピース

HPはコチラ

園内の行事や こどもたちの様子 など随時更新中<u>』</u>



次号は11月発行予定 夏休みの活動報告 他